

THE STARLIGHT GATHERER



◆ = 130g

And it shall be bestowed upon you, the Star which you have longed for —

PLAY

THE
STARLIGHT
GATHERER



The Star remembers it all.



When Fury was Passion.
When Curse was Faith.
When Escape was Bravery.
When Jealousy was Affection.
When Despair was Hope.
When Arrogance was Pride.



The Star remembers it all, together with its twinkles.

And it shall bestow upon you, the Star which you have longed for—

T H E T O W E R



This is a story of a nearby and distant planet, It is an epic of ancient times, a drama of the far future.

There once stood a Tower. No one knows when, by whom or for what it was built for. The Tower stood

under a starry sky. Standing straight, it stood as if to pierce through the moon. Standing in secret, it stood as if to refuse the starlight.

Stars showered onto the Tower. A star with soft spikes. A star curled up in fury. A star that was boiling cold. A star shining in bright darkness.

The stars were collected by someone at the Tower's top. A group of Goddesses gathered them caught in net that spread across the sky.

これは遠い星の、ずっと昔の、遙か未来のお話。

そこに、「塔」があった。

いつの頃からあるのか、誰が何の為に建てたのかもわからぬ「塔」が。

その塔は、星空の下にあった。

天空の月に突き刺さるかのように、まっすぐと。

星明りを拒むように、ひっそりと。

その塔には、「星」が降った。

優しく尖った星。

憤りに丸まった星。

熱く冷えた星。

真っ暗に明るい星が。

その星を、塔の頂上で摘むものたちがいた。

「女神」は空に張り巡らされた網にかかった星を集めている。

人の世に、星が落ちぬように。

その危険な勤めを、夜な夜な、その身をもって。

なぜ、その勤めに従事させられているのかは誰も知らない。

いつの頃から、なぜ、何の為に星を摘んでいるのかも。

塔を知る人間達の間に噂が立った。

日く、あの塔に登り星を摘むことが出来れば、永遠の願いが叶う。

日く、星の詰めなかったものは、永遠に塔から出られないと。

人は、女神たちへの畏怖と、届かぬ星への憧れを込め

塔に祈りと歌を捧げた。

それが星祭りの始まり。

First act



The first scene — The Star Festival

これは遠い星の、ずっと昔の、遙か未来のお話。

子供の衣裳のクレールとフローラ

フローラ 小さな国の小さな村に伝わる、夏の星祭り。

クレール 1年に一度、降り注ぐ流星のもとで、私はフローラと、

フローラ 私はクレールと、

二人 運命の出会いをした。

手を取り合って踊る二人。

フローラ 私達、ずっと昔から一緒だったみたい。

クレール 来年もまた、ここで会おう。

二人 この星祭りの夜に。



Tree and grass are asleep at night with forest animals strolling around quietly. The starlight and moonlight fall from small gaps of the vast net spread across the sky. From time to time, stars fall through with cracking sound and their shapes intact. A fallen star bounces back into the net rolling. But soon loses its glow. Trees and grass are asleep at night. When the forest animals point to their mouths. Hush! Two girls are walking. It's everyone's secret here.

Flora: (As picking up an hourglass) Look, Claire. What do you think this is ?

Claire: I wonder. I have never seen anything like this before. It's like a piece of star that dropped out from the sky.

Flora: Feels like I'm watching a galaxy streaming.

Claire: It's a true wonder. Oh, let's keep it as our treasure.

Flora: I wish we can fly out together someday. And leave behind our restrained lives.

Claire: I wish we can wear dresses that shine brightly like the tail of a comet, and dance from the morning to night.



With a small star, you have small happiness in your hand.

With a big star, you have big treasure in your hand.

With both, you have eternal aspiration in your hand.

The second scene —

The next year's Star Festival

遠い約束で結ばれた二人。

だが、二人が十六歳になった星祭りの夜

クレール 暗い場所にこそ輝く星。輝きがなければ、きっと私達は悲しい生き物。

フローラ 繋がった星の絆、きっと奇跡を起こせる。

クレール、一年ぶり、また会えたね。

クレール あなたは、誰？

フローラ え？クレール？

クレール 分からない。あなたの声、あなたの温もり、あなたとの約束。

大切なものだった覚えがある。でも、思い出せないの。

クレールは去年の星祭りの帰り道に、事故に合い、記憶を失くした。

フローラ 取り戻せるかも。今日は一年に一度の星祭り。星摘の塔の頂きで、あの星

を掴むことが出来れば、クレールの記憶も…

クレール あの頂上で輝きを掴むのが私の運命？それとも…

フローラ この地上で星の輝きに照らされるが私の宿命？

二人 行こう、二人で、あの星を摘みに。



小さな星を摘んだなら、あなたは小さな幸せを手に入れる。

大きな星を摘んだなら、あなたは大きな富を手に入れる。

その両方を摘んだなら、あなたは永遠の願いを手に入れる。

星摘みは罪の許し、星摘みは夜の奇跡。

星の光は希望の光。

あなたの光は星の光。

お持ちなさい、あなたの望んだその星を。



And it shall be bestowed upon you, the Star which you have longed for —

歌を頼りに、二人星摘みの塔にたどり着く。だが…

女神たち 何者か？

彼女たちは、500年前にこの塔に幽閉された

眠り、死にゆく、罪深き女神たち。

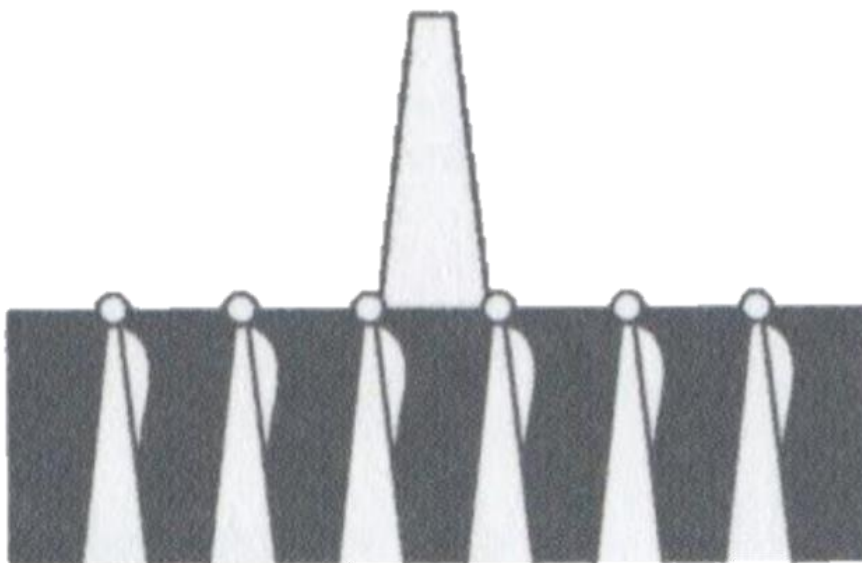
激昂、逃避、傲慢、呪縛、嫉妬、絶望。

なぜここに囚われたのか、どんな罪を犯したのか

長き時の中、それすらも忘れてしまった女神たち。

フローラ お願い、星を摘ませて、クレールの為に。

女神たち お前たちに渡す星はない。



激昂の女神 放ても放ても、私の矢はあの星には届かない。

無邪気に星を目指すお前たちは、この激昂が分かるか？

傲慢の女神 私ならあの星を掴める、そう信じていた。

でも、それは傲慢でしかなかった。

逃避の女神 立ち向かえないなら、逃げればいい。

そう、逃避するでしかなかったのよ、私は。

呪縛の女神 だけど、この慟哭と後悔の中に

私は呪縛されたまま。

嫉妬の女神 これは嫉妬、醜い嫉妬。

ならば教えて、何を捨てればあの人を、この手に。

絶望の女神 ああ、まだ繰り返すのね、絶望の輪廻

星明りの下で。

呪縛の女神 星に引かれ、この塔に来たことが間違えだったのだ。

あの光は残酷なもの、お前たちの望む奇跡なんで決して…

フローラ そんな、じゃあクレールの記憶はどうなるの？

私たちのあの思い出は、もう戻って来ないの？



女神たちの黒き感情に切り裂かれながらも、

二人は塔の頂上へ。

フローラ この先に、クレールの星が…

女神たち お持ちなさい、あなたの望んだその星を。

フローラ ああ、目が、目が見えない。

クレール、クレールは何処？クレール——

クレール 思い出した、あなたの名前は…

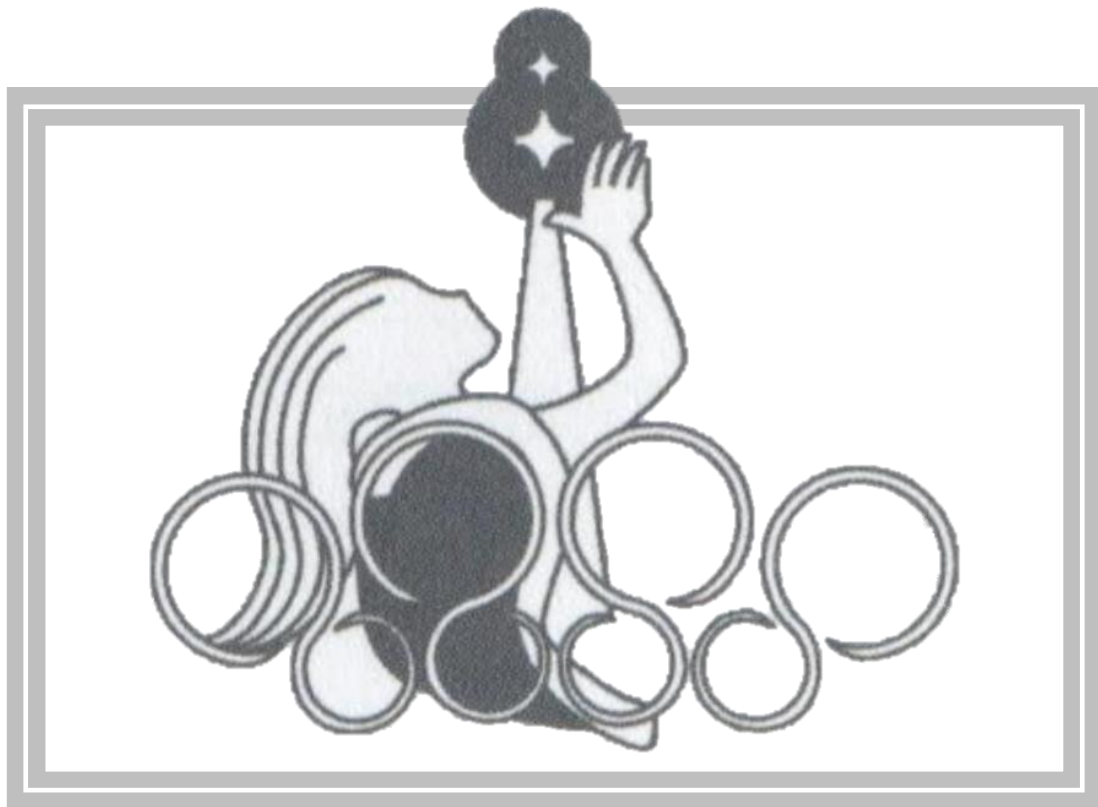
ごめんね、フローラ。二人の夢は、叶わないのよ。



星の輝きに目を焼かれたフローラは、塔から落ち、

クレールと永遠に離れ離れとなった。

そして頭上では、永遠に星々が瞬き続けるのだった。



The Star remembers it all, together with its twinkles.

Left alone, Claire was imprisoned in the Tower of Starlight Gathering.

She became the new prisoner to atone for their sin.

STARLIGHT GATHERING IS FORGIVENESS OF SINS

STARLIGHT GATHERING IS A WONDER OF NIGHT

STARLIGHT, THE SHINING OF HOPE

YOUR SHINES ARE THE STARLIGHT

THE STARLIGHT GATHERER

And it shall be stored upon you, the Star which you have longed for—

